

中野書記長激励会盛大に開催される

日刊

動労千葉

80.2.8

No. 34

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
〔鉄電〕二五八〇九(公営電話)二七二〇七

内外から温かい激励のこぼれ

2月5日、千葉ステーション・ビル4階雪の間において「中野書記長激励会」が開催された。この激励会は、動労千葉の10・22・11・1三里塚・ジェット燃料貨車輸送阻止闘争をはじめとする労働組合の原則にたった闘いに対する階級的憎悪をむき出しにした、不当処分攻撃の一環として解雇された中野書記長を激励するために関川委員長ら一を呼びかけ人として開催されたものである。激励会は、動労千葉の闘いに共感し、支持する、県労連をはじめとする県下労働界、三里塚・芝山連合空港反対同盟、共闘団体及び、組織内から一四〇名が結集し圧倒的成功をかちとった。

激励会は闘いの出発点

「激励会」は布施組織部長の司会で進められ、冒頭、呼びかけ人を代表して動労千葉・関川委員長から「中野書記長に対する解雇をはじめとする一〇六名への不当処分は絶対に容認できない。われわれはすでに二波にわたる抗議闘争をもって決起し、中野書記長への解雇に対しては千葉地裁に訴訟を提起し、裁判闘争を闘う第一歩を踏み出した。

われわれはこの不当処分に対し勝利するまで闘うし、35万人体制攻撃粉碎の闘いと結合した三里塚・ジェット闘争を水路に80年代を闘い抜ける自前の労働運動を職場・生産点から創り出してゆくという決意も闘志もいささかもおとろえていない。むしろ決意は強く固まっている。

今日の激励会はこれからの闘いの出発点である。全参加者の中野書記長に対する今後の御厚情をお願いするとともに、動労千葉が今後も闘い抜くという決意を申し上げて今日の盛会に対するお礼の言葉と致します」というあいさつが行われた。

さらにかんはるー中野書記長決意表明

続いて、県労連・井原議長、社会党千葉県本部・高橋県会議員、反対同盟・北原事務局長、石毛常吉さん、支援共闘会議・浅田光輝世話人、日本婦人会議千葉県本部・土屋さく議長からの激励のあいさつを受け、続いて、中野書記長からお礼のあいさつが行われた。

中野書記長は「今日皆さんからの叱咤激励を頂く日で身のひきしまる思いです。

私自身にとっても、動労千葉にとってもこの事態はひとつの試練であり、この試練を試練としてのりこえてさらにかんばり抜いてゆく」と決意を明らかにし、会場全体の拍手がこれを包み込んだ。

続々と激励のあいさつ

そして、実戸OB会長をはじめ松田五郎、長谷川吉之助両OB会副会長が参加していることが紹介され、実戸会長の音頭で乾杯が行われた。しばらくの歓談の後、公労協を代表して古出全電通委員長、千葉県教組・富塚委員長からの激励のあいさつが行われ、社会党千葉県本部から小川国彦衆院議員、市川副委員長、若松国民運動局長、菅井長七船橋市会副議長等が参加していることが紹介され、代表して小川衆院議員から激励のあいさつを受けた。その後、新村勝雄衆院議員、赤桐操参院議員からの激励が紹介され、7月参院選勝利に向けて全体で取り組んでゆくことが確認された。

さらに、顧問弁護士・清井礼一氏、遠く関西から駆けつけた関西実行委員会の加辺永吉さんから激励のあいさつが行われた。つづいて安房地区労・辻田実議長をはじめ多くの人々が参加し、激電やメッセージが寄せられていることがひとりひとり紹介された後、動労千葉全支部長が登壇し、元地本副委員長・林一男氏、前中央本部副委員長・中江昌夫氏、中野書記長の出身支部千葉運転区・永田支部長からの激励のあいさつが行われ、西森副委員長の指揮による組合歌合唱、関川委員長の音頭による団結ガンパローで激励会を終わった。

団結ガンパローの後も会場やロビーで歓談が続けられあたたかいふん囲気の中で激励会は終っていった。

当面するスケジュール

- 2月9日 スポーツ連盟総会 十三時
- 10日 青年部学習会 十三時
- 12/13日 組織部長会議 十時
- 14/15日 交渉部長会議 十時
- 16日 八十年代を闘う労組活動家懇談会 十三時